



初春令月
気淑風和
万葉集 梅花
歌三十二首 序文

令和のふるさと万葉の世界を想わせる梅

撮影 中尾 順一

令和元年、会長就任に思う

発行所 枚方・交野地区保護司会
ホームページ
www.hirakata-shakyo.net/hogoshikai/
発行者 山 本 光 茂

TOPICS

- ◎一面 新会長挨拶
- ◎二面 第69回「社会を明るくする運動」
- ◎三面 枚方・交野更生保護サポートセンターから
- ◎四面 大阪保護観察所から
- ◎五面 この人に聞く
- ◎六面 「少年非行防止と健全育成」
- ◎七面 作文コンテスト優秀作品
- ◎八面 退任・新任保護司の挨拶

枚方・交野地区保護司会

会長 山本 光茂



さる三月一九日の総会において枚方・交野地区保護司会の会長を仰せつかり山本卓也前会長の後任として就任いたしました。今更ながら責任の重さを痛感しているところです。

保護司会の運営に当りましては、総会で承認された運営方針に基づき行なっております。更生保護は、地域社会に広く理解を求めていかなければならない事もあり、地方公共団体や、更生保護団体等各関係諸団体とのより密接な関

係が必要となつてきており、連携を深めてまいりる所存です。

犯罪の件数は、ここ数年減少傾向にあるものの大変憂いを抱く犯罪が多く発生しており、また低年齢化の一方高齢者による犯罪の増加や内容も複雑化してきております。これらの犯罪に対する更生保護活動はますます重要性を増しております。今までの人生経験を生かしつつ、今の世相にあった処遇を勉強していかねばならないと思っております。

世の中が目まぐるしく変わる中で観察所から、保護観察の充実強化から出される施策に皆さんと共に日々研鑽を積み対応していきたくと思っております。会員の皆様には仕事を

持ちの方や地域での活動をされている中、各種研修会への参加をはじめ、社会を明るくする運動、薬物乱用防止教室、更生保護サポートセンター、更生保護PR活動や諸行事への参加、加えて所属部の各種の活動等々にと負担増を感じている方もおられるのではないかと思っております。

負担をかけることなく更生保護活動ができる環境づくりを検討することも必要と感じております。

保護司会の充実を図るためには、役員をはじめ保護司一人一人が丸となって運営に携わっていただくことが大切と思っております。皆様のより一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



第69回「社会を明るくする運動」

「犯罪や非行を防止し立ち直りを支える地域のチカラ」

● 強調月間 / 令和元年 七月一日～三日



実施委員長
黒田 実 交野市長



実施副委員長
伏見 隆 枚方市長

実施委員長あいさつ

枚方・交野地区保護司会の皆様には、日頃より更生保護活動をはじめ、犯罪や非行の防止、青少年の健全育成にご尽力いただき、心より敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。「社会を明るくする運動」は、国民ひとり一人が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のな

い明るい社会を築こうと、法務省関係機関・団体、地方公共団体や各種民間団体の参加・協力のもと、毎年全国的な運動として展開され、昭和二六年に始まりましたこの運動も、今年で第69回を迎えます。

五月一日、私たちは新たな気持ちで改元の日を迎えました。新しい時代となり初めて実施されます今回のスローガンは、「Re:スタート(リ・スタート)」です。「令和」に込められた意味同様、明日への希望を持ち、再び立ち上がり、それぞれの花を咲かせることのできる社会を目指して、皆様とともに再出発して参りたいと考えております。

平成二八年に「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、罪を犯した人

たちの立ち直りには、市町村の支援も大切であることが示されました。

こうした流れの中、矯正施設が所在する自治体率が率先して、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた情報交換、政策提言、地域住民への啓発活動等、再犯防止施策をさらに進めていくため、「矯正施設所在自治体会議」が創設され、「交野女子学院」が所在する本市もこの会議に参加いたし

ます。

当地区におきましては、枚方市とのさらなる連携のもと、保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主の方々をはじめ、「社会を明るくする運動」にご賛同いただく皆様とともに、安心して暮らすことのできる犯罪のない明るい地域社会を目指して参ります。

皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

目標

- ① 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組みを進めよう
- ② 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう



行事予定

- 七月二日(火) 交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)交流ホール
- ① セレモニー 午前一〇時
- ② 街頭啓発 啓発物品配布 午後六時 各地

プログラム

- オープニング
- 関西外国語大学吹奏楽部学生による演奏
- 式典
- あいさつ
- テント贈呈
- 講演
- 「講師」松田慎一氏 (大阪府就労支援事業者機構 事務局長)
- 演題「立ち直り…見守る、支える地域のチカラ」



枚方・交野更生保護サポートセンターから

センター長 平井幸雄
副センター長 交野市 廣田恭孝

枚方市 恵阪順三
企画調整保護司 各一〇名

『共に考えましょう』

現在、枚方・交野の二か所に更生保護サポートセンターが設置され、関係機関や団体と協力し、保護司が行う処遇活動への支援や、各種相談への対応、情報交換を行っています。加えて地域に根ざした犯罪非行予防活動やその企画も行っています。

して下さい。

当サポートセンターのドアは常にオープンにしています。

また、当サポートセンターは個人面接の場として活用しています。

保護司活動は保護観察対象者、身元引受人や雇用主等、その接点が限られています。アレやコレや悩むことも多々あります。

これら各種の問題や悩みを当サポートセンター内で企画調整保護司と本音で交流し、次の展開が広がることとがあります。

企画調整保護司の皆様のご経験や保護司になった経緯など話を伺う中で、生活観や、その生き様に多くの教示・示唆を頂いています。貴重な出会いです。

各保護司の現在の悩みや逆に嬉しさや、その喜びを

拝聴できることも当サポートセンターに駐在している喜びです。

偶に、退任された保護司の方が来訪される時があります。その当時のお話を伺うと先輩の方々のご苦労や功績があつて、今の保護司会が存在しているのだと実感します。当サポートセンターは学びとコミュニケーションの場となっています。共に考え、相談し、学び、よりよい解決策・方策を求めていきます。

廣田 恭孝 記

東輝会は

東輝会の前身は、枚方東部地区の保護司さん達(主に女性)で構成された「すもも会」です。その「すもも会」が十数年前に解散されました。それを機に平成二一年四月一日に枚方東部地区の四中学校区(津田・長尾・長尾西・杉)の保護司からなる「東輝会」が生まれました。目的とするところは勉

強会や情報交換、親睦をはかることです。会員数は四月一日現在二五名です。会場は地域の公民館を借りて年数回実施しております。この程度の人数が質問や意見を言いやすく、特に新任保護司さんにとっては有益な場となっております。今後は、保護司の信条に従って活動が継続されることを願っています。

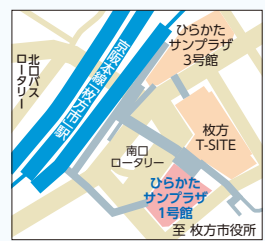
井村 秀明 記



「東輝会」勉強会風景

枚方更生保護サポートセンター TEL072-846-6705

- 場 所 / サンプラザ1号館 2F
- 開所日時 / 日・火・水・木・土曜日 午前10時～午後4時
- 休 館 日 / 月・金・祝、お盆、年末年始
その他保護司会会長が指定する日



【アクセス】京阪本線「枚方市」駅下車 南口前

交野更生保護サポートセンター TEL072-806-6200

- 場 所 / 交野市役所別館 2F
- 開所日時 / 月・火・木・金・土曜日 午前10時～午後4時
- 休 館 日 / 水・日・祝、お盆、年末年始
その他保護司会会長が指定する日



【アクセス】京阪交野線「交野市」駅下車 徒歩6分



大阪保護観察所から



大阪保護観察所 所長
古川 芳昭



更生保護制度施行七〇周年を迎える本年は、再犯防止推進計画二年目でもあり、

対象者の地域における居場所と出番をしっかりと確保していく施策や、個々の特性に応じた支援・指導を関係機関・団体との連携を強化しながら推進して参りたいと存じます。犯罪を繰り返す人は、様々な要因のため、なかなか減少しないのが実情であり、再犯防止の実を挙げていくためには、一人でも多くの地域の方々のご理解と、それぞれの立場に応じたご協力が不可欠です。昨年度内閣府が実施した世論調査によれば、保護司

について知っているという回答した人は五七・四%でしたが枚方・交野地区においては、サポートセンターの積極的な活用やホームページによる効果的な広報等の日頃からの意欲的な取組により、地域における保護司の認知度はさらに高まっているものと存じます。

ハローワークや協力雇用主と連携した就労支援、学校や警察と連携した犯罪・非行予防活動などを推進している保護司会の皆様に、心から敬意を表するとともに、これらの活動の実態と意義について一人でも多くの地域住民の方々に実感いただくことが大切です。広報啓発にも一層力を注いでいただき、一人でも多くの更生保護の仲間を確保していくよう、さらなるご尽力をお願い申し上げます。



大阪保護観察所 保護観察官
呉屋 善之



護観察所で医療観察制度の対象者となった人の社会復帰を促進するための処遇を担う社会復帰調整官を拝命し、現在、更生保護官署の職員として五年目を向かえます。

平素より、犯罪や非行の防止にご尽力いただき誠にありがとうございます。今年度の人事異動で神戸保護観察所から異動となり枚方・交野地区の担当をさせて頂くことになりました呉屋(ごや)と申します。私は平成十二年四月から、大阪市に所在する社会福祉法人の救護施設で高齢者、障害者及び生活困窮者の生活相談・支援業務に長らく従事しておりました。平成二七年に同施設の閉鎖を機に、これまで培ってきた経験を活かすことができると一念発起し同年四月に奈良保

この度、縁があり歴史ある更生保護制度を担う保護観察官を拝命することとなりました。保護観察官として勤務するのは、枚方・交野地区が初めてとなりますので、ご迷惑をお掛けすることも多いと思いますが、地区の皆様方とのコミュニケーションを大切にして、対象者一人一人に誠実に向き合いながら、犯罪のない誰もが暮らしやすい地域作りの一助となれるように一杯頑張りたいと思います。この一年間ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



この人に聞く 協力雇用主の方々

吉浦建設



代表 吉浦 光宏

弊社は平成七年に個人事業として創業し、現在に至ります。

今回、協力雇用主のお話をとお受けしたのも、我が子供の頃よく母に「成る堪忍は誰でもするが、成らぬ堪忍するが堪忍、堪忍袋の緒が切れたら縫え」と、よく言われており、使命かなとも思いました。

彼らが更生し、再出発できる様、お力添えさせていただく所存でございます。若輩者ですが、宜しくお願いたします。

ファミリーファッション
フジ牧野店



代表 水嶋 忠雄

弊社は、衣料品や日用雑貨等の小売販売業を営んでおります。

犯罪や非行をした人の更生には仕事があることが大切だと思いますが、受け入れ先が少ないとの声を聞き、及ばずながら引き受けさせていたいただきました。

これらの人たちが社会に帰ってきたときに立ち直れるように援助し、働く場を得られることと、更生保護や協力雇用主に関する地域社会の理解が広がることを期待致します。

株式会社ブルータス

藪内 博史

● 青少年支援活動事例

一般生活ルートを外れた若者たちの支援を受入れ、生活や社会のルールを身に付ける活動には、対象少年と同じだけの体力気力が必要です。本人の性格や特徴を感じ取り、今本人ができるであろう仕事内容を見つけ、まずは無理のない量で会社内ルールを身に付けてもらいました。本人が対話をした素振りを見せた時は内容の浅い深いに関係なくその手を止めて聞いてあげることでも大事です。そして、会社内の社員、アルバイトスタッフが差別なく対応することも大切です。今後は、価格変動の多い海外商品の仕入れ担当となり記憶力を武器にし、仕入れの交渉担当として弊社の基盤である酒類仕入担当として活動しています。

三つの時代 保護司として



平井 幸雄

保護司を委嘱されて三十三年、昭和六一年五月に委嘱されて昭和・平成・令和と元号が変わり気が付けば当保護司会で一番古い保護司となりました。

今も忘れることが出来ないのですが、最初の大阪保護観察所での、新任保護司研修で、保護司法、第三条に「保護司は人格及び行動について、社会的信望を有すること」の意味合いについて講義を受け、これは大変なことやな、私は人格も社会的な信望もないし、これはあかんわ、こんな私に他人を更生させようなど、とていやな仕事など、とて自信喪失になったのを覚

えております。そんな私に当時の村上会長様から、平井君自信を持って、君は宗教家やから教えの中から人を導けば良いとおっしゃったのが心の支えとなり又、先輩先生方から、多くの助言を頂き、百名以上の対象者と接して一人一人から多くのことを学ばせて頂き今日に至っております。

そして常に対象者を担当した時に適切な対応が出来るよう、更生保護に関して情報を得るようにして処遇の基礎知識や面接のあり方など勉強するようにしてきたことが良かったのではないかなと思っております。これからも後少し、対象者と共々に研鑽に励みたいと思えます。

「この度退任された太田 祐仁氏と共に、三つの時代を枚方・交野地区保護司会の更生保護活動に最も長く携わって来られています。」(※編集部 記)

「少年非行防止と健全育成」

枚方警察署長

清水 久司



「枚方・交野地区保護司会」の皆様方には、平素から、更生活動、青少年の健全育成及び犯罪の予防・啓発活動をはじめ、警察行政の各般にわたり多大なご尽力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

また、本年度で第69回目を迎える「社会を明るくする運動」をはじめ、永きにわたる皆様方の地域に根ざした地道な活動に對しまして、心より敬意を表します。

さて、最近の少年の非行情勢について申し上げます

と、少年の検挙・補導人員は減少傾向にはありますが、そのうち、過去に何らかの非行で、検挙・補導されたことがある再非行少年は全体の約四割に至っており、立ち直り支援の必要性が、まさに求められるところでありあります。

さらに、近年の青少年を取り巻く環境は、急速に変化しており、インターネット等を利用したサイバー犯罪や特殊詐欺事件などの新たな形態の犯罪が発生しており、これらの犯罪から少年たちを被害者にも加害者にもさせない対策が急務となっておりあります。

枚方・交野両警察署では、非行少年の検挙・補導活動とあわせて、少年の健全育成に向けた立ち直り支援と非行防止活動に取り組

んでおりますが、これらの活動は、皆様方のお力添えなくしては決して成し遂げることができません。令和の時代、日本の未来を担う少年たちの健やかな育成と犯罪のない、明るい安全で安心なまちづくりに向けて各種警察活動を推進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念しましてあいさつにかえさせていただきます。



みんなで力をあわせて 安全・安心まちづくり

枚方・交野警察の犯罪発生状況(暫定値)

罪種別・警察署別	空き巣狙い	忍び込み	居空き	事務所荒し	出店荒し	その他侵入盗	ひったくり	車上狙い	部品狙い
枚方	平成30年	29	6	1	7	43	17	26	91
	平成29年	37	6	6	3	17	22	11	101
	増減	-8	0	-5	4	26	-5	15	-10
交野	平成30年	21	7	2	9	11	3	1	41
	平成29年	28	0	0	1	19	3	0	67
	増減	-7	7	2	8	-8	0	1	-26

罪種別・警察署別	万引き	その他非侵入盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	路上強盗	強制わいせつ	合計
枚方	平成30年	114	313	6	97	411	2	1,290
	平成29年	164	353	19	91	424	2	1,554
	増減	-50	-40	-13	6	-13	0	-264
交野	平成30年	46	109	11	92	128	2	548
	平成29年	43	77	19	68	170	0	673
	増減	3	32	-8	24	-42	2	-125



*資料提供は枚方・交野警察署

「第68回社会を明るくする運動」

作文コンテスト

枚方・交野地区保護司会 佳作



「傷つく人がいない社会に」

交野一中・三年 辻口 史歩

犯罪や非行がなく、無意味に傷つけられる人がいない社会をつくることは、とても難しいことだと思う。犯罪はやってはいけないことだというのは、社会で生きていく上で当たり前の話だし、もちろん罪を犯したら刑罰を受ける。それなのに、テレビをつけると流れてくるのはたくさん犯罪のニュースで、ニュースで流れないものもたくさんあるだろうから、全部を合わせる物凄い数になるはずだ。

じゃあ何故、犯罪を犯した人達は「やってはいけないこと」だと分っているはずなのにやってしまったの

だろう。犯罪のニュースが流れると、事件を起こした人ばかりが悪いんだと言われる。もちろん、罪を犯すことは悪いことだけれど、私は生まれながらの悪人はいないと考えている。親の育て方や、友達などの周りの環境が影響してその人ができるものであって、犯罪を犯してしまった人だけが悪いのではないと思うからだ。小さな悩みや不満が積もって、犯罪や非行に手を染める人は少なくない。周りの人がその人の悩みに気づいてあげたり、虐待や育児放棄をするような親がいなくなれば、犯罪は大幅に減ると思う。

しかし、相手の気持ちに気づいてあげることがとても難しいことだ。何かしらサインがあれば気づくことができるかもしれないが、人の心を読むなんてことはできないし、自分と相手だけでなく気持ちでいる確認だってない。もし相談されても分かってあげられないかもしれない。そこが難しいところだと思う。けれど、分かってあげられなくても、聞いてあげたり話しかけたりするだけで、心は軽くなると思う。

罪の意識なく行ってしまいう犯罪もそうだ。たとえば、これぐらいいいだろうと思うって、道路の隅に放置されている鍵のかかっている自転車を手を使ってしまふこと。私は、このケースを周りでよく見かける。といっても、実際に人の自転車を勝手に使っているのを見たことはないのだが、知り合いの何人かが「鍵か

かってないし、これぐらい大丈夫」と言っているのを聞いたことがあった。これぐらいって、なんだろう。人の物を勝手に使うことは、やろうと思えば簡単にできることだと思うし、あくまで普段報道されているようなニュースからすると軽い犯罪だ。けれど、犯罪は犯罪で、やってはいけないことなのだ。知り合いの言葉を聞いて、特に私たち未成年は、犯罪とそうじゃないことの境界が曖昧になってきている気がした。

そういう人たちを止めるためには、「それはやったらだめだ」としっかり言える人が周りにいないと、犯罪の自覚なくやってしまう可能性がある。私の周りの人たちが、「これくらい大丈夫」と言ったとき、私はダメだと思いつつ、「そうなんだ」としか返せなかった。多分、実際に勝手に使っているところを見たわけじゃないし、と逃げていた。でも、気づいたときにちゃんと言わないと、その人はきっと繰り返してしまふ。そうなる前に、その人のために厳しく言ってあげることが思いやりであり、社会を明るくするための第一歩だと思った。

私にとつての明るい社会は、きつと傷つく人がいない社会だと思う。そのためには、まず世の中から犯罪をなくすことが最優先だ。今の自分には、社会に対して何か大きく力になることはできないけれど、いつか将来、自分の力で社会を明るくしていくことができれば、それで少しでも意味もなく傷つけられる人がいなくなったら、とても嬉しいことだと思う。犯罪を犯す人にも、親にも、友達にも、分け隔てなく思いやり、相手のことを考えて行動することが、私の考える「社会を明るくする運動」だ。

新体制でスタート

会長 山本 光茂

副会長 清水 和明

木田 ミツ

谷 恒雄

総務部部长 橋 隆

研修部部长 端野 寛昭

組織部部长 大槻 順子

広報部部长 芝田 実

顧問 大槻 哲也

山本 卓也

仲谷 慶子

畑中 光昭

木田 ミツ

更生保護 サポートセンター長 平井 幸雄

保護司候補者検討委員会

大路栄三・畑中光昭

端野寛昭・清水和明

富田芳一

(保護司総数一〇九名)

令和元年五月一日現在

ふり返ってみれば：



退任保護司 奥野 洋子

保護司のお話を頂いたとき「地域でお世話になってるのだからご恩返しのでお引き受けしたら」と言

引き受けました。が、実際に研修を受けケースを担当してみると責任の重さを実感し私に勤まるかと不安になりました。しかし先輩保護司や観察官の指導を戴きながら定年を迎えることができました。

様々なケースでうまく接触できないまま再犯に至った時は自分の無力を感じ、また順調に保護観察を終った時は少しは更生のお手伝いできて良かったと思いましたが、後日、親にも言えない事を相談できて保護司との出会いがなかったら今の自分は無かったと手紙をくれた時

は保護司をして良かったと思いました。後になりましたが保護司会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



2月定例会で奥野・奥西両氏退任あいさつ

退任保護司

一月 奥西 正和

奥野 洋子

五月 太田 祐仁

井村 秀明

初めまして！

新任保護司 小川 眞乗

私は、浄土宗西光寺住職として二六年間、地域の皆さまのお世話になって参りました。これまでは更生保護活動につきまして「標語パネル」への協賛しか知識も行動も伴わなかったのですが、ご縁を戴き現在、新任保護司としてご関係の皆様がお取り計らいくださいます各種研修を受けさせていただきますながら身が引き



これから諸活動を通じまして、より現実的に人として学ばせていただきながら、大いに悩む機会もあると思います。保護司と言う重要な職務が遂行できますよう精一杯つとめさせていただきますと存じますので皆さまのご指導を私どもの新任保護司に賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

編集後記

「令和」元年。どんな時代の幕明けだろうか。天災や犯罪の無い平穏で明るい日々と社会をと願ってやまない。

この時代の節目に枚方・交野地区保護司会は七〇周年を迎えた。昭和・平成・令和と続く更生を願う活動にはたくさんのドラマが生まれたことだろう。先輩諸氏が築いてこられた歴史に思いを馳せたい。そして今回、令和元年発行に因んで巻頭を敢えて「梅」で飾ることとした。

悼

新庄 正三・三一

※下村 宏 三三・三三〇

謹んでご冥福をお祈りします (※印 名誉会員)

